

令和4年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

| | |
|--------|--------------------|
| 所管課 | 文化振興課 |
| 評価対象期間 | 令和3年4月1日～令和4年3月31日 |
| 施設種別 | 文教施設 |

1. 指定概要

| | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|---|--------|----------|---------|-----------------------|--------------------|
| 施設概要 | 名称 | 平和市民公園能楽堂 | | | | | |
| | 所在地 | 大分市牧緑町1番30号 | | | | | |
| | 設置目的 | 能楽、邦楽その他の伝統的芸能文化の振興を図り、市民文化の向上に資する | | | | | |
| 指定管理者 | 施設の建築年 (又は事業開始年) | 平成元年度 | | | | | |
| | 名称 | 平和市民公園能楽堂共同事業体 | | | | | |
| | 代表者名 | 代表構成員 株式会社 テイクファイブ 代表取締役 白石 成裕 | | | | | |
| 指定管理業務の内容 | 所在地 | 大分市王子中町10番22号 | | | | | |
| | 指定管理業務の内容 | ①指定管理の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④利用促進及び文化の振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務 | | | | | |
| | 料金体系 | 有料公演 68,640円～91,740円(平日)・82,500円～110,440円(土日) 無料公演 34,320円～45,870円(平日)・41,250円～55,220円(土日) 口ヒューのみ 2,980円～3,980円(平日)・3,520円～4,740円(土日) | | | | | |
| 利用料金制 | 導入済 | 選定方法 | | | 公募 | | |
| 指定期間 | 平成 31年4月1日～令和6年3月31日 (5年間) | | | 導入年度 | 平成19年度 | | |
| 利用者数 (単位:人) | | R3年度 目標④ | | 38,000 | | 達成率 ①/④ | 44% |
| 18年度② (直営時) | 29年度 | 30年度 | R1年度 | R2年度③ | R3年度① | 18年度比 ①-② | R2年度比 ①-③ |
| 23,501 | 37,402 | 41,147 | 36,683 | 13,026 | 16,553 | ▲ 6,948 | 3,527 |
| 管理運営経費の削減額 (直営比較時) (単位:千円) | | | | | | | |
| 直営時 管理運営経費(b) | 前指定期間 最終年度30年度(c) | 30年度 | R1年度 | R2年度 | R3年度(a) | 直営時(初年度)比較 (a)-(b) | 前指定期間比較 (a)-(c) |
| 47,089 | 47,102 | 47,102 | 51,200 | 54,813 | 51,670 | 4,581 | 4,568 |
| 利用者満足度 (%) | | 満足 | やや満足 | 配置職員数(人) | | 直営時又は導入1年目 | 令和3年度 |
| | | 47 | 53 | | | 7 | 10(常勤のみ) |

2. 評価結果

| | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 評価項目及び評価のポイント | | | | | | | |
| 1 施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組 | | | | | | | |
| (1) 施設の設置目的の達成 | | | | | | | |
| ①施設の特徴を生かし、施設の効用を高めるための取組がなされているか。 | | | | | | | |
| ②施設の設置目的に応じた効果的な広報など情報発信がなされているか。 | | | | | | | |
| ③施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組がなされ、その効果があったか。 | | | | | | | |
| 【実績】 目標指数① 年間利用者数【市設定指標(R5):39,000人、指定管理者目標(R3)38,000人、実績(R3)16,553人 (R2)13,026人)】 目標指数② 年間利用件数【市設定指標: -、指定管理者目標(R3)490件、実績(R3)362件 (R2)390件)】 目標指数③ 主催する事業の年間実施件数【市設定指標:25回、指定管理者目標(R3)28種43回、実績(R3)25種41回 (R2)15種35回)】 目標指数について、R3年度はいずれも指定管理者設定の目標値に及ばなかったが、これはR2.2月から続く新型コロナウイルス感染症の影響による催事等の中止や貸館利用のキャンセルがあったためである。 一方で、若い世代や親子が初来館するきっかけとなる取り組みを行ったり、小学生を対象とした体験型ワークショップや学生向け能楽鑑賞会を実施し、広く能楽や伝統文化に触れてもらう機会を創出したりするなどし、利用者数はR2年度より3,500人ほど増加している。 | | | | | | | |
| (2) 利用者の満足度 | | | | | | | |
| ①利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。 | | | | | | | |
| ②サービスの質や量は向上しているか。 | | | | | | | |
| ③利用者の苦情や要望、意見を把握し、その対応を行っているか。 | | | | | | | |
| ④利用者への情報提供が十分になされたか。 | | | | | | | |
| 【実績】 イベント参加者のアンケートによる利用者満足度(満足、やや満足)は98%で、R2年度の87%よりも上昇した。また、アンケートの配布方法を工夫するなどし、回収枚数はR2年度の435枚に比べR3年度は1,121枚と大幅に増加した。 また、施設利用者のアンケート回収枚数は34枚で、満足度は100%であった。 一方で、回収できている年齢層に偏りが大きい点については引き続き課題とし、今後も回収率向上の工夫を行い、利用者の意見・要望把握の精度を上げていく必要がある。 | | | | | | | |
| 2 効率性の向上等に関する取組 | | | | | | | |
| (1) 経費の低減等 | | | | | | | |
| ①施設の管理運営において経費の削減が図られているか。 | | | | | | | |
| ②清掃、警備、設備の保守点検等の業務について再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。 | | | | | | | |
| ③経費の効果的・効率的な執行がなされたか。 | | | | | | | |
| 【実績】 R3年度は支出予算は95,346,231円に対し、支出決算89,284,354円であった。(※R2年度:支出予算62,798千円、支出決算61,721千円) 支出全体は、R3年度はR2年度に比べ大幅に増えているが、これは、新型コロナウイルスの影響により昨年度は中止となった事業の再開による事業費の増及びそれにかかる経費の増による影響が大きい。 一方で光熱水費については、R3:約3,638千円・R2:約3,840千円で約202千円減少している。夜間利用のない日の閉館時間を早めるなどし、電気代等の節減に努めたことが一因と考える。 | | | | | | | |
| (2) 収入の増加 | | | | | | | |
| ①収入を増加させるための具体的な取組がなされ、その効果があったか。 | | | | | | | |
| 【実績】 新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴い、R3年度の利用料収入は約5,406千円でR2年度(約2,266千円)より約3,140千円増加した。また、自主事業収入は約5,775千円でR2年度(約1,880千円)より約3,895千円増加した。特にその内訳として市指定以外の自主事業収入が大きく収入増に寄与しており(3,895千円増のうち3,881千円は市指定以外の自主事業収入増によるもの。)、指定管理者の創意工夫による取り組みの効果があったと考える。また、補助金等を適切に活用し事業の活性化にもつなげている。 | | | | | | | |

| | |
|--|--|
| 3 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組 | |
| 【所見】 | (1) 施設の管理運営の実施状況 |
| | ①事業計画等に基づく適切な人員配置や勤務体制となっているか。 |
| | ②従事者への教育・研修は、適切に行われているか。 |
| ③地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。 | |
| 【実績】 事業計画等に基づき適切な人員配置や勤務体制をとっている。 従業者への教育・研修は適切に行われている。 地元にはゆかりのある作家と連携した事業を実施したり、岩田学園の学生を対象とした能楽鑑賞会を行ったりするなど、地域との協働を図っている。 | |
| 【総合評価】 | (2) 法令遵守、平等利用、安全対策、危機管理体制など |
| | ①関係法令(地方自治法、労働関係法令、通則条例、設置条例等)の遵守等に遺漏はないか。 |
| | ②施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切に実施されているか。 |
| ③市民の公平かつ平等な利用が確保されているか。 | |
| ④施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。 | |
| ⑤管理物件の修繕や日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。 | |
| ⑥事故発生時や非常災害時において適切な対応が取れる体制を確保しているか。 | |
| 【実績】 法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得て実施している。 個人情報保護のための対策は適切であり、市民の公平かつ平等な利用も確保されている。 収支の内容に不適切な点はない。 安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、運用している。 施設の修繕や事故防止などの安全対策について、所管課との連携を密にしながら適切な対応がとられている。 施設で新型コロナウイルス感染者が確認された場合の対応や連絡体制などのマニュアル作成を行った。 | |

| |
|---|
| 【所見】 市との相談や協議を密に行い、適切に管理運営を行っている。能楽をはじめとした伝統的芸能文化の普及に関して、利用者が固定化・高齢化しつつある現状を受け、学生向けの能楽鑑賞会を実施したり若手邦楽アーティストを起用した公演を行ったりするなど若年層を意識した取り組みを行い、伝統芸能の啓発普及に努めている。 また、体験型ワークショップやクラシック等能楽以外の公演も多数実施することで、幅広い層の市民に施設利用の機会を提供し、施設の効率的運営を図っている。 |
| 【今後の対応】 今後の方向性や新しいニーズの把握のため、アンケート回収率向上に引き続き力を入れていく。 また、引き続き若年層やファミリー層など幅広い世代を対象とした事業を継続し、新規リピーターを創出することで、より多くの市民が能楽や伝統文化に興味を持つきっかけを提供していく。なお、施設の経年劣化が進んでいるため、能舞台の保守・保全はもとより、施設機能の低下が予測できる箇所を市と指定管理者で連携しながら計画的に修繕改修していく。 |

| | |
|--|---|
| 【前年度の大半市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】 | |
| 主な意見等 | 市の対応状況 |
| ①指定管理者の指定に際し、3年後、5年後の目指すべきビジョンは確認できているのか。また、大半市としてそのビジョンは評価できているのか。単に来館者数を目標として取り組むのではなく、施設の設置目的を達成するべく、明確なビジョンをKPIとして設定し、各年度で達成度合いを管理していくことが望ましい。 ②アンケートの回答者に対して、能楽堂の写真等の簡易なアイテムをプレゼントする等、アンケート回収率向上に向けた取組をしてみようか。 ③備品購入費に関しては、予算に対して、実績が大きく上回って支出している。しっかりと予算計上して対応することが必要である。 | ①現在は年間利用者数を主な指標としているが、利用者の要望やアンケート結果等を用いてよりきめ細かい分析を行い、指定管理者と今後のビジョンについて確認しあいながら、施設の設置目的の達成に努める。 ②アンケート回収率向上について、配布方法を工夫するなどしR2年度の435枚と比べR3年度は1,121枚と大幅に増加となった。今後も、回収率向上および質の高いアンケート回収に向けた取り組みを検討していく。 ③R2年度の備品購入費に関しては、パソコン等必須備品に関して突発的な故障があり、急遽対応が必要となった案件であった。備品の耐用年数等も鑑み適切な予算措置を行う様に努める。 |

| | |
|--|--|
| 【R4年度 指定管理者評価部会の意見】 | |
| ①アンケートの回収結果の内訳を見ると、授業で参加した小学生(10代)が突出しているため、アンケートの集計方法について工夫したほうがよい。 | |
| ②ワークショップに複数回参加したら、記念品を配付するなどの取組を検討できないか。 | |
| ③能楽の魅力をより多くの市民に発信できるよう、無料で参加できるイベント等の企画を検討できないか。 | |
| ④施設の効用を高めるため、能楽堂の目指すビジョンを市として明確にしていきたい。 | |